

## 子どもの安全を守るための活動に、 ご協力をお願いします！

関教育政策室 ☎724・6762 FAX724・6010

登下校時の子どもの安全を守るために、通学路などでは、地域のみなさんがさまざまな活動を行っています。また、箕面市では、小・中学校の通学路に防犯カメラ786台を設置するとともに、子どもたちの位置情報が確認できる見守りシステム「otta(オッタ)」を導入し、登下校時の見守りを強化しています。ぜひみなさんも、子どもの安全を守るための活動にご協力ください。

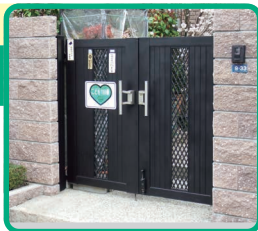
### 登下校時の 子どもの安全を守るために 地域の活動にぜひご参加ください！

#### 子どもの緊急避難所！

#### こども110番

関青少年指導センター ☎721・1900

子どもが危険を感じたときに逃げ込める場所として、個人宅や店舗に「こども110番」のプレートやステッカーの設置(いずれもA4サイズ)をお願いしています。10月19日現在、2116件のご協力をいただいています。留守がちなお宅でも、設置するだけで地域の防犯につながりますので、ぜひご協力をお願いします！



#### 設置したかたの 声

- 門扉にプレートを設置するだけなので気軽に参加できました。地域の防犯に貢献できるのはうれしいですね。
- 家族で防犯について話し合う機会が増えて、防犯意識が高まりました。
- お店に駆け込んできた子どもを保護したことがあります。人が集まる店舗などは、逃げ込みやすい場所だと思うので、同業の仲間にも設置を呼びかけようと考えています。
- 市内で「こども110番」のプレートやステッカーを見かけることが多くなり、心強く感じています。設置するだけでも犯罪者を遠ざけることができます。

#### ～ご家庭では～

お子さんと一緒に、通学路にある「こども110番」の家や店舗を確認し、危険を感じたら逃げ込んで助けを求めるよう説明してください。また、市の公用車や郵便局などの車両にも「動くこども110番」のステッカーを貼り、パトロールを兼ねて地域を走っていますので、助けを求めることができます。



#### 通学路の点検活動！

#### 危険箇所・問題箇所点検

関青少年育成室 ☎724・6968

毎年5～6月に、約1000人の地域のかたが参加し、市内14の小学校区ごとに、実際に通学路を歩いて点検します\*。点検活動は、どなたでもご参加いただけます。実施日は毎年みじだより5月号でお知らせしていますので、次回の点検活動にぜひご参加ください！

\*今年の危険箇所・問題箇所点検は、コロナ禍の影響により、青少年指導員や青少年を守る会など、関係者のみで実施しました。



#### 登下校時の見守り活動！

#### 子どもの安全見まもり隊

関青少年育成室 ☎724・6968

登下校時間に、通学路の見通しの悪い交差点や、交通量が多い道路の横断歩道などで旗を持って立ち番をしたり、「おはよう」「気を付けて帰ってね」などと声をかけて、子どもの安全を見守ります。ぜひご参加ください！



#### 愛犬と見守り活動！

#### わんわんパトロール

関市民安全政策室 ☎724・6750

愛犬の散歩をしながら地域をパトロールして、登下校時の子どもたちの見守りをを行います。お散歩仲間や、ご近所のお友達同士でできる活動ですので、愛犬の散歩をするときは、ぜひご協力ください。また、市内では4つの団体が「わんわんパトロール」の活動を行っています。各団体にご参加もいただけます。



#### 見守りシステム

#### otta

### お子さんに見守り端末を持たせてください！

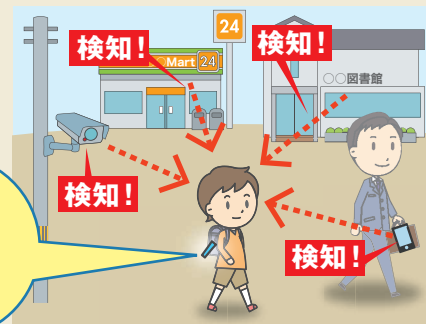
関学校生活支援室 ☎724・6760

箕面市では、小・中学生の見守りを強化するため、見守りシステム「otta」を導入し、笛型の小型発信機(見守り端末)を、全市立小・中学生を対象に無料配布しています。

この見守りシステムは、検知器を設置した市内の公共施設や店舗、防犯カメラ、アプリをインストールしたスマートフォンなどを検知ポイントとし、いざというときに学校や教育委員会が、子どもたちの位置情報を確認できるものです。

#### 見守り端末の電池切れにご注意を！

見守り端末の電池切れにより、子どもたちの位置情報が検知できないという事例が増加しています。電池の交換めやすは約1年です。定期的に電池交換をしてください。また、お手持ちの端末が正常に稼働しているか不安な場合は、稼働状況を確認しますので、学校生活支援室(☎724・6760)へお電話ください。



### 子どもの安全を守る活動は、まだまだあります！

上記のように、さまざまな活動がありますが、子どもの安全を守るための活動に決まった形はありません。散歩や買い物、ジョギング、ウォーキングなどの時間を、登下校の時間に合わせるだけでも、子どもたちのようすを見守ることができます。ぜひ今日から、みなさんと、子どもの安全を守るための活動にご協力ください。